

# 安保破棄ニュース

No. 538  
2022. 2. 10

## 安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒五四三-〇〇一四 大阪市天王寺区玉造元町一七一-二二  
TEL 〇六一六七六三一三八三三  
FAX 〇六一六七六三一三八三六  
●Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp  
●ホームページ <http://www.anpo-osk.jp>

# 沖縄返還50年

従属的軍事同盟からの  
脱却をめざそう！

沖縄返還から50年の今年、「選挙イヤー」最初の選挙となった名護市長選挙は、2年を経過してもなお感染拡大の脅威が続くコロナ禍の中で行われました。

結果は、辺野古への米軍新基地建設反対を掲げ、「建白書」の実現をめざす「オール沖縄」の候補として立候補した岸本ようへいさんを先頭に、「平和で豊かな誇りある名護市政」を実現するために奮闘しましたが、現職の渡具知氏に及びませんでした。

「今回も、金力と権力によって分断された名護市の実情を、さらに浮き彫りにさせた選挙だった」と、岸本後援会会長を務めた前市長稲嶺進さんが勝敗の決した直後に言わなければならない結果となったことが残念でなりません。

## なぜ勝てなかったのか？

自公政権は対米従属の日米安保体制の下、辺野古への米新基地建設を有利に進めるために、前回に続けて「勝利の方程式」

①官邸主導 ②自公（維）セット ③争点そらし ④候補者活動を徹底し、現職を勝たせるために丸抱えで支援しました。

コロナウイルスの感染拡大によって、さすがに自民党も前回のように多数の国会議員を送り込むことはできませんでしたが、茂木幹事長は党本部から沖縄に関係する経済界、地方議員らに電話で支援協力を呼びかけ、菅義偉前首相にいたっては、自らの秘書を地元へ派遣して支援しました。

また公明党は、先の衆議院選挙において自民党が名護市を含む沖縄3区の小選挙区で議席を獲得することへの協力の見返りに比例区の票を大きく伸ばしたこともあり、さすがに県外からの大量動員はできなかったものの、あらゆる「つながり」への支援・協力を行いました。

さらに加えて、4年前の名護市長選挙以降、自公政権は一層「新基地建設反対」の「民意」を踏みにじった建設工事を強行し続けることにより、名護市民が1996年以来続く米軍普天間飛行場の移設、つまり辺野古への米軍新基地建設問題によって、25年間も分断され苦しみ続けさせられていることを逆手に取り、コロナ禍の下でも工事を止めず、目の前の美しい海に土砂が投入され埋め立てられるという現実を見せつけました。

そして、選挙のたびに名護市民は選択を迫られ、「もうやめて」と思っているところへ「名護市の課題は基地問題だけではありません」という呼びかけ。

いくら「新しい基地はつくってほしくない」と思っているでも「諦め」、それならば、日常の生活を「何とかしてほしい」と思わせる。そんな「争点そらし」が前回以上に強力に行われた結果と言わねばなりません。

（岸本陣営の課題については、別途報告します。）

## 新基地建設反対の「民意」は揺るがない！

しかし、選挙期間中に琉球新報など3社が実施した世論調査では「辺野古新基地建設」に「反対」が62・1%（容認）33・2%、当日の出口調査でも65%が「反対」（容認）35%と答えており、新基地建設反対の「民意」は揺るぎません。

## これから私たちがなすべきは？

今回の選挙の争点が辺野古新基地建設にあったことは紛れもない事実である以上、その在日米軍基地・軍人が存在するが故の課題、事件・事故の根源、従属的軍事同盟である日米安保条約・日米地位協定に向き合わなければなりません。

決して、わずか人口147万の沖縄県の皆さんに任せておいて良いはずのない、全国民の問題です。

岸田自公政権とその先鋒維新の会などが一層のめり込む、「戦争する国」づくりのための大軍拡と改憲策動を、今こそ国民の手でくい止めましょう。

佐渡金山の世界遺産登録申請を通して現れた歴史の事実謙虚に向き合おうとしない本質が、沖縄の歴史の下に確固たるものとなっている「新基地建設反対」の「民意」をも無視して、辺野古新基地建設を強行している「寄り添わない」姿勢にも表れています。

米軍の肩代わりをして中国を軍事的に抑え込もうとする「敵基地攻撃能力」とその出撃拠点となる南西諸島への軍備増強は、またしても沖縄を「捨て石」にしようとするものです。

私たち安保破棄大阪実行委員会は、いま顕著に表れているアメリカ言いなりの政治をただす、市民と野党の共闘の力をさらに強固なものとするため、そして、日本国憲法が日米安保条約によって捻じ曲げられた縮図の様な沖縄に寄り添って、全国の皆さまと共に活動します。

共にがんばりましょう。

# みんなで学び、 行動し、 「戦争する国づくり」阻止を！

新型コロナウイルス感染症拡大が全国的に広がっている状況ですが、オンラインを活用するなどしての学習が様々な分野で広がっています。

この間、安保破棄中央実行委員会などが、学習に役立つリーフを発行しています。

○土地利用規制法学習リーフ

「あなたを監視する

土地利用規制法」

昨年の通常国会の最終盤で、強引に強行成立させられた「土地利用規制法」に関するリーフです。

この法律の全面施行は今年の秋と言われていますが、すでに具体化が進められています。だれでもが監視の対象になりえるこの法律を、広範な人たちと連携し廃止していくために、是非ご活用ください。

○辺野古新米軍基地建設問題学習リーフ

「いまこそ中止を！ 沖縄・辺野古新米軍基地建設」

沖縄県民の民意を無視し、日本政府が強行している、辺野古新米軍基地建設。軟弱地盤の存在が明らかになり、「設計変更申請」を沖縄県に出しましたが、沖縄県はこれを不承認としました。

このリーフでは、自公政権が沖縄の民意を無視し続けてきた歴史

## 諸団体の取り組み、当面の予定など

### 2月

- 16日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00～ 大阪民医連会議室
- 11日(金) 「建国記念の日」不承認大阪府民のつどい 13:30～  
会場参加は要事前申し込み(たかつガーデン) YouTube 配信あり
- 12日(土) なくせ原発おおさか集会・プレ企画  
「司法は原発をどう裁いてきたか」 14:00～ オンライン
- 22日(火) 大阪安保 23 定例宣伝行動 12:00～ 淀屋橋
- 27日(日) 大阪多喜二祭 13:30～ クレオ大阪東

### 3月

- 6日(日) なくせ原発！再稼働反対！おおさか大集会 14:00～  
エルシアター+オンライン併用※どちらも要申し込み  
16:15～パレード
- 16日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00～
- 23日(水) 大阪安保 23 定例宣伝行動 12:00～ 淀屋橋

### 4月

- 20日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00～
- 22日(金) 大阪安保 23 定例宣伝行動 12:00～ 淀屋橋
- 23日(土) 近畿安保合同連続学習会第6弾  
14:00～ オンライン  
講師：前泊博盛さん(沖縄国際大学教授)

※要事前申し込み。参加費、申し込み方法等、詳細は後日お知らせいたします。

## 23 宣伝行動

今年初めて、通算 400 回目となる、安保破棄大阪実行委員会 23 定例宣伝行動を 1 月 21 日の昼 12 時からいつもと同じく大阪市庁舎近くの淀屋橋で行いました。

気温 3 度、雪がちらつく寒い中でしたが、9 人の参加で、ビラ配布とプラスターなどをもつてのスタンディング、弁士による訴えを行いました。

弁士は、大阪原水協、大阪 AALA、平和遺族会から出していただきました。

寒い中ではありましたが、「戦争する国づくり」を進める岸田政権への抗議、核兵器禁止条約への日本政府の署名・批准を求める訴え、沖縄の名護市長選挙への連帯、辺野古埋め立てに沖縄戦の遺骨の眠る土砂を使おうとしていることへの抗議などを、3 人の弁士が熱く訴えました。

ビラを受け取らずとも、プラスターや横断幕に目を向け歩いていく人が多くいました。

次回の宣伝行動は、2 月 22 日(火)の 12 時から、淀屋橋で行う予定です。



にも触れ、辺野古新基地建設が技術的にも不可能であり道理もないことがまとめられています。  
政府に対し、県知事の承認決定に従うよう全国から声を大きく広げていくためにぜひご活用ください。

これらのリーフは、いずれも一部 10 円(送料実費)です。